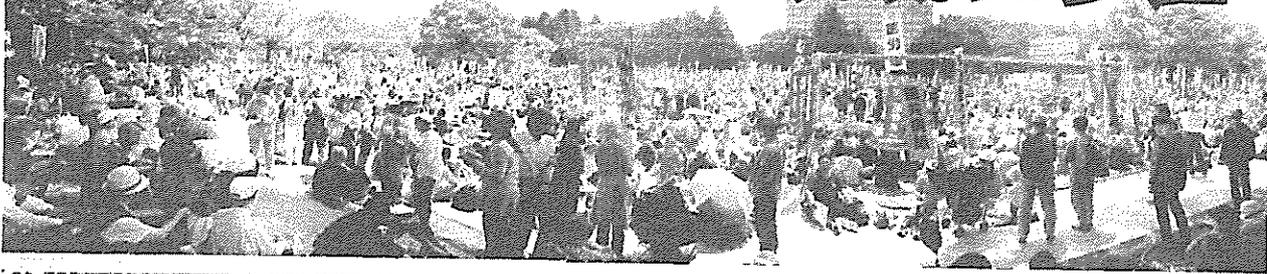


# 第87回メーデーに元気に参加



メーデーに参加した退職者会の会員と家族

千代田区職労  
退職者会ニュース

第2016-4号  
16年5月15日  
退職者会  
編集委員会  
03-3221-0052

今年のメーデーは87回目となりました。晴天に恵まれた日曜日で参加者は3万人を超え、会場の代々木公園サッカー場は参加者で埋まりました。

## 戦争法廃止の声高く

千代田区職労も例年より多い参加で、退職者会は二八名の会員(再任・雇用会員含む)と家族が集まりました。最高齢は八四歳の元会長の高橋鏡悦さんで元気な姿を見せました。

全労協メーデーの代表が参加して挨拶し、代々木からも日比谷に代表が参加していることが報告されました。参加者は「戦争法廃止」「立憲主義を取り戻せ」「ストopp!安倍暴走政治」などのコールを繰り返しながら、都内三方向へ行進しました。

山口智子  
今年の日曜日ということで、現職の夫と参加しました。子どもを連れて来たこともあったつけ。年に一度のメーデーですが、この一年は退職者会のみなさんと国会前でも何度かご一緒しました。なんとでも安倍政治ストopp、暮らし守れの思いを一つに!メーデーでも、その思いがたくさんの人に広がればとバレードしました!みなさんお疲れさまでした!

## メーデーに参加して

河西治彦  
日曜日のメーデー参加者が多いのかと思いましたが、それほどでもなく五二名中二八名が退職者会の皆さま。千代田区の場所から志位さんの顔が良く見えなかった。来年はオペラグラスを忘れずに。パレードの先頭に垂れ幕を持った赤い服の女性、そして宣伝カーから聞こえるすてきな女性の声、メーデーに花を添えてくれました。反省会は疲れを癒してくれました。

## 三部合同・春の街歩き「雑司が谷散歩」にご参加を!

コンパクトなエリアに見どころ満載「沖縄平和ツアー」の報告も...

変わりゆく時代の中で、変わらないものの大切さを思い出させてくれるまち雑司が谷。初夏の半日を雑司が谷をそぞろ歩き、歴史と文化を訪ねてみませんか。

街歩きの後は、恒例「居酒屋学習会」。今回は、昨年12月に行った「戦後70年区職労沖縄平和ツアー」報告会を行います。もちろん、楽しい交流・懇親の場もあります。

日時	5月28日(土) 午後1時集合 午後7時終了 (街歩きは午後4時終了)
場所	豊島区雑司が谷かいわい
集合場所	地下鉄副都心線「雑司ヶ谷」駅1番出口 または「雑司が谷案内処」(別紙チラシ参照)
集合時間	午後1時
居酒屋学習会	午後4時過ぎから、場所未定
参加費	懇親会費・1500円(新入会員・無料)
申込み	☎ 03・3221・0052 まで

現職組合員はもちろん、ご家族、友人、知人の参加 大歓迎

# 憲法守れ・戦争法廃止 安倍政権退陣を掲げ

## 5万人!!!

### 5.3 憲法集会



5月3日、「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の主催で憲法集会が開かれました。

会場の東京臨海広域防災公園には、昨年よりはるかに多い1万人以上上回る5万人が参加しました。退職者会も8名

実行委員会の高田健さんから「野党と市民の共闘で与党を追い詰め、安倍政権を退陣させよう」と訴えが

### 感想

櫻井 和恵さん  
5歳の孫と夫の3人で憲法集会に参加しました。

会場の広さと5万人の参加者に感動し、昨年よりはるかに多い集会になったことに、憲法を守れ、戦争法廃止の市民の声が大きく広がっていることを肌で感じました。そして何よりも感動したのは従軍記者を経験した101歳のジャーナリスト・むのたけじさんの「国連に加盟しているこの国にも9条と同じ条文はない。日本だけが理想を高く掲げている」と9条の素晴らしさを力強く語っていたことに、惨い戦争を体験した方の真実の訴えだと痛感しました。

日本が二度と戦争を起こさないために、そして子どもたちに平和を残すことが大人の責務だと確認

(家族含む)が参加しました。集合場所の国際展示場前駅は身動きが取れないほどの人込みで、会場までの道も人波が続き、会場に着くとすでにメッセーgerドを手にした参加者で埋め尽くされていました。

### 立憲主義を取り戻そう

あり大きな拍手がおきました。また高校生平和大使だった大学生白鳥亜美さん、立憲デモクラシーの会の山口二郎さん、辺野古基金共同代表の菅原文子さん、101歳のジャーナリスト・むのたけじさんが安倍政権の下で立憲主義が揺らいでいると危機感を訴えました。

野党4党首がそろい踏み、野党4党首も勢ぞろいし、民進党の岡田代表は「憲法違反の戦争法を廃止しなければならぬ。野党は共闘し参院選を戦い抜く」、日本共産党の志位委員長は「戦争法に反対して新しい市民運動が発展し野党共闘が大きく前進した。野党と市民の共闘で選挙に勝ち安倍政権を倒し憲法の先駆的な輝きを生かした新しい政治をつくらう」、社民党の吉田党首、生活の党の小沢代表からも訴えがありました。

実行委員会からは戦争法廃止2000万署名が1200万人に達したと報告がある、会場からは大きな拍手と歓声が上がりました。目標の2000万署名を目指す6月末まで署名を続けることが確認されました。集会終了後デモ行進も行われました。

土屋 喜代子さん

今年の憲法集会で何と言っても

驚いたのは、野党4党が勢ぞろいし、生活の党の小沢一郎代表が連帯の挨拶をしたことだった。司会者が紹介すると会場からは「ウオー」というどよめきが起った。

「安保法廃止も選挙に勝たなければ実現しない。4党と市民が協力して選挙戦に勝ち抜こう」と力強く呼びかけた。

小沢さんがこうした集会でこんな挨拶をするなんて、いままさに政治が変わる時だと実感した。

戦争法廃止の二千万署名は二二〇〇万まで到達したと報告された

西本 由起子さん

参加者五万人、凄かったです。

足の踏み場も無いくらいで、通路に立ったままの人も沢山いました。野党4党の党首が揃い、共闘の必要を言いました。

会場に来ていた人達は、もとよりそのつもりの大きな拍手でした。菅原文太さんの奥さんの文字さん、一〇一歳で未だに現役ジャーナリストのむのたけじさんのスピーチに感激、シルズとの奥田さんは、ますます確固たる気持ちをもたせました。

が、あとひと踏ん張り、必ずやりきって参議院選挙を迎えたいと強く思いながら帰路に着いた。

西本 優さん

5・3憲法集会には開会宣言以降もどんどん人が集まり、ついに五万人を超えた。

ミーデーの参加者が昨年を超えたことやNHKなどのアンケートでも改憲を望まない人が増えていたこともあつて期待したが、それを超える大集会に感激した。

立憲デモクラシーの山口氏が言っていた「昨年の9・19は敗北の日ではなく、日本の立憲主義と平和を取り戻す闘いの始まりの日だった」という言葉に頷く。

一〇一歳のジャーナリストむのたけじさんは「新しい歴史が動き始めている」と言った。その通りだ。どっこの国民はそんなに甘くないぞと心強く感じた集会だった。

# 年金積立金が危ない！ 株につき込み五兆円の損失か？

私たちが現役時代に必死に働いて掛けてきた年金、その積立金が安倍政権によって危機に瀕しています。

年金積立金はこれまで安

全性の高い国債を中心に運用されてきましたが、二〇一四年の秋からリスクの高い株式への投資に主軸を置くよう変更されました。このことは退職者会ニュース（「松とテツ」）でも取り上げてきましたが、狙いはアベノミクスの効果を演出するため、株式市場に莫大な年金積立金を投入することによって株価を釣り上げるといって「禁じ手」の官製株価操作のため、合わせて安倍内閣の支持率アップを図るため、と指摘されてきました。

果たして昨年7～9月期の年金積立金の運用実績は、8兆円ものマイナスとなり、私たちの心配は現実のものとなりました。そしてこの7月には昨年度（十五年度）一年間の運用成績が発表されることになっています。

## 参院選対策で発表遅らす

ところが例年7月初め頃に発表される運用成績が、今年7月末になるというのです。メディアによれば、野村証券の専門家の試算で二〇一五年度5・1兆円もの損失を出す見通しとなった、と報じられています。

これはゆゆしき大問題です。このことが7月の参院選選挙実施前に発表されれば、国民の大きな怒りを呼び選挙に影響すると踏んだ政権筋が、年金積立金管理運用独立行政法人（舌を噛むほど長い名称なので「GPIF」と短く言う）に圧力をかけて発表を参院選後に延ばさせた、というのがもつ

ばらの見方です。そういう姑息なやり方にも腹が立ちますが、まずはこうした運用をやめさせるよう世論を高めることが大事です。

## マクロ経済スライドは何のため？

私たちが年金受給世代は安泰だ、と脳天気なことを言っている場合ではありません。思い出してください。年金給付にマクロ経済スライドを導入し、物価が上がるのが下がるのが毎年約1%の年金額を減らして行く、という悪政の理由となつているのは、「将来に向けて安定的に年金を維持していくため」ではなかったのか？ということですよ。高齢化によって年金受給者が増え、一方少子化で現役世代が減る状況下でやむ負えない措置だ、受給者のみなさん我慢して、と私たちに負担を押し付けておきながら、一方ではすべての国民が老後を生きていくための虎の子の積立金を、湯水のように株式に投入して1年間で5兆円も摩ってしまった。それも首相の支持率をあげるために。こんなことが許せますか！こんなことをこれからも許しておけますか？

いよいよ参院選が視野に入って来ました。永田町にはいろいろな動きがあるようです。憲法学者の小林節氏が新たな政治団体を作って候補者を立てる、とか、共産党との連立は全く考えてない、ただし候補者を降ろすと言うなら歓迎する、などと見下したような発言をする民進党幹部も出てきました。

安倍政権打倒に向けて国民・野党こそって連帯しなければならぬ時に、敵に塩を送るような行為や言説は残念です。最新のNHK世論調査では50%こそ下回っているものの、支持率は相変わらず支持を上回っています。

アベノミクスと言うまやかしのニンジンぶら下げて人心を掌握しようとしたものの、食えないニンジンであることがはっきりしてきました。なのに、安倍内閣を支持するとはどういうことでしょうか。

秘密保護法・戦争法・TPP  
P・消費税増税・原発再稼働

と輸出、もちろん私達の年金もご承知のように特例水準の解消と称した2・5%の削減、また「マクロ経済スライド」という訳の分からない言葉を使って物価上昇分の増額を大幅に抑えたり、物価下落にも削減しようと目論んでいます。

このようにアベの悪政を数え上げたら切りがありません。

また、アベは「新三本の矢」「積極的

# 参院選で ウソとまやかしの安倍政権を 退陣に追い込もう

松浦永司

平和主義」「一億総活躍」「女性が輝く社会」等、空疎なまやかしの言葉を弄して国民を騙しています。

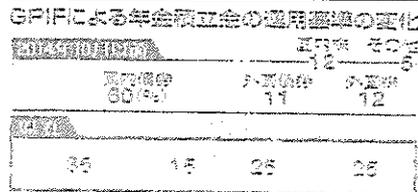
選挙が近づくとつれいつも気になつてくる事があります。それは、「今の与党は良くないが、それに代わる政党がない。当選させたい候補者がいない」と言うような嘆きの言葉です。この言葉はメディア、特にテレビのあらゆる場面でも発せられます。一見進歩的、革新的に見えるコメントーターや評論家も口にします。また、街頭インタビューなどでも数多く発せられます。

これはどう言う事でしょう。「自民党与党はダメ、でも他にはない」と言う考え方は、「だから自民党与党しかいない」あるいは「選挙は棄権するしかない」と言う結論に誘導されてしまうでしょう。夏の参院選が近づくとつれ、またこの言葉が繰り返されるのでしょうか。

私達はもうこの呪文のような言葉を乗り越え、悪政を倒す新たな言葉を作り上げていかなければなりません。おのれを呪縛し敵を利用する物言いを巷から払しょくし、未来に向けた議論を始める時です。

安倍政権に代わる政党・候補者がいないと嘆くのではなく、安倍政権に代わる政党・候補者にしていく、あるいは育て上げていくという積極的な考え方でしか、この局面を打開する道はないと思います。

この局面を打開する道はないと思います。



このことは同時に、ほとんどの国民の老後の生活を支える資金は安全性を最も重視しなければならない、という鉄則に反すると浴びてきま

# 故郷・熊本に想いを寄せて

吉本 茂喜



3月の末、65歳の同窓会をやったばかり、楽しかった思い出が臉に残っている中、熊本県上益城郡益城町を中心とした大地震が起きました(4月14日)。

地震直後、親戚や同窓会仲間の安否確認の、電話を入れましたが、当然不通で、翌日(15日)、使用に慣れていない携帯で連絡すると、皆、元気な声で、家具が壊れ、家中悲惨な状態ながら怪我や家屋に問題がないとの返答で一安心しました。

「ヨカッタ! ヨカッタ! 本震より大きな余震はないのだから、無理しないで用心して、後片付けばせんばんばい(後片付けをなさいよ)」助けにもならない悔み言葉をかけてながら、一安堵していました。この地震が、阿蘇の噴火や熊本県の近くにある川内原発に影響はないだろうかが残った心配でした。

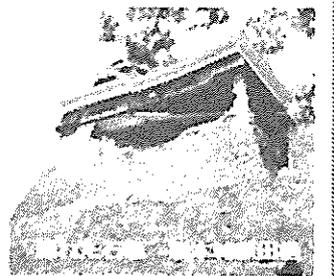
ところが、本震ではなかったのです。翌朝未明(16日)、前回より大きな地震が再び起きたと、早朝のテレビで知ることになりました。再び連絡をすると前日と違って、落ち込んだ声が返ってきました。

水や食べ物豊富な田舎なので心配はないものの、大きな揺れがひっきりなしに続き、眠ることが出来ず、前日の跡片付けも、最初からやり直しになって、休む場所もない。など、疲労困憊しているようでした。また、益城町に住んでいた友達は、「家が全壊し、今更新築する余裕もなく、休みなき起きる地震で精神安定剤なしには熟睡できない、いつまで車中泊を続けるのか、見通しが立たず、精神がおかしくなりそうだよ」「大型連休中、病院が休みなので薬ももらえなくなるので心配だ」と言っていました。

避難所でなく、自治体が指定している避難場所に行くと薬は手に入るのてないかと話しながら、何か自分にできることはないものか、今すぐにでも皆のもとに飛んでいきたい気持ちでした。

こんな中、区職労関係の友人やご近所の人から、親戚の被災を心配して、心暖かい言葉を掛けて頂きました。有り難いことだと思いました。何もできず、何かやらなくてはと思い、近くの友人と「熊もんの絵の入った看板を作って、駅頭で募金活動を始めました」ところ、数回の募金活動の中で往来の多くの人から募金をいただきました。この間、心配して頂いた方、募金に協力して頂いた多くの方に、心から感謝申し上げます。

壊れた熊本城とともにわが故郷の一日も早く立ち直らんことを祈ります。



松 熊本の震災は驚いたな。日本はいつでも大地震が起きてても不思議じゃあないと再認識したよ。

テツ 本場にそう痛感するね。しかも経験したことがないような災害が新たに起きる。被災地に実家や知り合いを持つ人も多い、オレの友達にもお見舞いの電話をしたよ。

松 それにしても、川内原発が何事もなかったように稼働し続けたのには驚きを通り越して怒りを覚えたよ。

テツ まったくだ。過去にないような地震の様相だったから、何が起るか分からないうという心配を誰もが感じていたと思う。政府は「運転を停止する理由はない」と過去の想定で止めなかったが、とんでもない。

松 福島第一原発の事故の教訓はどこへ行った。またまた「安全神話」に戻ってしまった。

テツ 「想定外」の地震が起きているのに「想定内」の対応しきれないなんて、今の政府には国民を守ろうという気持ちはまったく感じられないな。ただただ原発を動かして日本中の原発の再稼働につなげたい、その障害になることは見えない、ということだよ。

松 奇妙なこともあった。NHKは

## 松とテツ「お見舞い申し上げます」 災害便乗政治は ゴメンだ

余震が起きるたびに九州の地図上で震度を表示したニュースを流していたが、どうしたわけか鹿児島南部の地図が画面からはみ出て映らないんだ。はーん、川内原発の所在地をわざとカットしてるな、とあきれたり腹が立ったり...

テツ 今度の地震災害をめぐっては原発以外にも政府のやり方に怒りを覚えるよ。物資輸送に米軍のオスプレイ出動を要請したこと。米軍から申し出があった、とウソをついて実は政府から要請していた。

松 ただでさえ危険性が指摘されているオスプレイをわざわざ使うなんて、魂胆が見え見えだ。災害に便乗して別の政治的意図を実現させようというやり方は許せないな。

テツ 災害便乗の政治とでも言うのかな。菅官房長官の「憲法を改正して緊急事態条項が必要」という発言も、惨事に便乗した悪辣な手法がよく表れているよ。

松 日頃の悪政もさることながら、災害時にアクロバクが噴き出している、これ以上任せられない思いが募るね。

テツ うん、次の災害が起きてからでは遅い...

青い堂九条守れの声響く  
誕生日忘れ慌てて血洗ひ

調査する

自分が過ぎました お正月

喜代子

よういら